

令和3年度7月 定例市長・市政記者懇談会の結果について

日時 令和3年7月5日（月）午後1時00分～1時45分

場所 市役所2階 第1委員会室

出席 市政記者クラブ10社

会見内容

1. 話題提供（3項目）

1. 新型コロナワクチンの接種について

- 最初に、新型コロナワクチンの接種についてです。
- 65歳以上の高齢者の方のうち、7月4日（日）午後2時までにワクチン接種の予約を済ませた方は、約45,000人（予約率約81%）、7月5日（月）午前9時現在、データ入力を終えた分といたしまして、1回目の接種を終えた方は、約37,900人（接種率約65%）、2回目の接種を終えた方は、約6,300人（接種率約11%）となっております。
- また、新型コロナワクチン接種の、1回目の予約が取れていない65歳以上の方を対象に、7月5日（月）から7月10日（土）までの釧路市観光国際交流センターの大規模接種会場の予約枠を、各日100人程度増やすことにいたしました。2回目の予約枠は、病院やクリニックで確保することといたします。
こちらの予約は、新型コロナワクチンコールセンターのみで受付し、受付期間は、7月3日（土）から7月9日（金）です。
- 19歳から64歳の市民の方へのワクチン接種につきましては、市内においても、7月から職域接種が始まりますことから、6月26日から7月4日に、64歳の方から、順次、年齢別に「接種券」を発送しております。
- なお、予約の開始時期・実施医療機関・予診票等の実施方法が記載された予約の開始案内については、日程等が決まり次第、改めて個別に郵送させていただきます。
- 64歳以下の皆様は、「接種券」を大切に保管いただき、別途、予約の開始案内がお手元に届くまで、お待ちいただきますよう、お願いいたします。

2. 釧路市奨学金返済支援制度にかかる登録企業の募集について

- 続いて、釧路市奨学金返済支援制度にかかる登録企業の募集についてです。
- 令和4年度から実施予定の釧路市 奨学金返済 支援制度は、企業の魅力向上や若年層の人材確保を目的に、奨学金の返済額の一部を釧路市と採用企業が支援する制度です。
- これまでの新しい制度を始める際の流れで言いますと、予算編成を経て、予算が確保されてからこのように企業募集や制度周知を行うことが一般的な進め方です。

- 今回は、人材確保に向けてスピード感を持って取り組んでいくため、令和4年度の新規採用者が、就職活動時に本制度を利用できる企業があることを知っていただくために、この時期に本制度を周知し、企業募集を行うこととしたところでございます。
- 市の支援額は、年間の定期返済額の3分の1の12万円を限度とし、企業におきましても市と同額以上の支援をしていただきます。
- 本支援制度は、令和4年度に新規採用される方から対象とし、支援の期間は原則3年、企業に継続の意思があれば、5年まで延長して実施する予定です。
- 本日、7月5日（月）から制度の趣旨にご賛同いただける企業の募集を行います。募集期間は8月31日（火）までとなっており、その後も随時、登録を受け付ける予定ですが、令和4年度の新規採用に向けて、早めの登録をお願いいたします。
- 登録要件は、
 - (1) 原則として市内に本社・本店、主たる事業所がある中小企業等
 - (2) 釧路市が支援する金額と同額以上の支援を原則3年間行うこと
 - (3) 申請書のとりまとめやアンケート調査に協力いただくこと
 - (4) 登録企業であることを釧路市ホームページ等で公表することに同意することとなっております。
- なお、釧路商工会議所や北海道 中小企業家 同友会 くしろ事務所、釧路市 建設事業協会 等、関係団体の皆さんに制度の概要をお知らせした際、おおむね制度の趣旨にご賛同いただいております。現在まで、市内の企業、10社ほどからご協力をいただけるご意向を伺っております。
- 今後のスケジュールにつきましては、9月議会において制度要綱案を提示し、その後、企業の登録状況や採用見込み等を参考に令和4年度予算に盛り込んでまいります。
- 若年層の人材確保が課題となっている中、官民一体となって取り組みをすすめることで、まちの活性化につなげてまいりたいと考えておりますので、積極的な登録をお願いいたします。

3. ドリームアートプロジェクトについて

- 続いて、ドリームアートプロジェクトについてです。
- 本プロジェクトは、今年度購入する消防車の一部に、釧路市内の小学生から公募した絵を掲載するもので、市民の皆さんに、日々の消防活動に興味を持っていただけるよう、親しみのある消防車を造り、地域に根ざした消防を目指すほか、新型コロナウイルス感染症の影響が続き、外出自粛などの規制がかかるなかで、子どもたちに思い出を提供するために実施いたします。

- 釧路市内の小学校および特別支援学校小学部に在学する4年生を対象といたしまして、「釧路」をテーマに自由に描いていただき、応募作品から審査・決定された「ドリーム賞」1作品を、消防車助手席側のシャッターに掲載するものとなっております。
- 応募期間は令和3年8月31日（火）までとなっております、外部有識者を交え審査を行った後、10月にはイオンモール釧路昭和で、すべての応募作品を展示いたします。
- 消防車の完成は、来年3月頃を予定しており、完成にあわせましてお披露目式を予定しております。
- なお、お披露目式および表彰式の最後には、受賞者全員に消防車に搭乗体験をしていただくこととなっております、より思い出に残る内容となっておりますので、多くの作品のご応募をお待ちしております。

2. その他（1項目）

1. 土砂災害情報の個別配信システムの登録について

- 続いて、市民の皆様へのお願いということで、土砂災害情報の個別配信システムの登録についてです。
- 静岡県熱海市の土石流の災害につきまして、被害にあわれました皆様に、お見舞い申し上げます。
- 釧路市内においても、「土砂災害警戒区域」に指定されている箇所は160箇所あり、人が住んでいる居住箇所は101箇所あります。災害等の情報を皆様に確実に届けるには、従来、対象区域に市から広報車の拡声器で呼びかけるなど手法がありましたが、北海道の住居は気密性が高く、聞こえないという声も多く聞かれます。
- そこで、FMくしろと連携し、ラジオ放送等も活用させていただいておりますが、加えて釧路市では、直接、個々に伝わる仕組みということで「釧路市防災メール配信サービス」にて、ご登録いただいたメール、FAX、固定電話に、個別に避難情報をお知らせするサービスを実施しております。
- 現在、土砂災害警戒区域には約1,515世帯の方が住んでいらっしゃいますが、当サービスへの登録は約450件と、登録割合は3割程度となっております。
- 該当地域にお住まいの本人でなくても、違う場所に住んでいるお子さんが登録し、避難指示があれば、該当地区にお住まいのご両親に知らせるという使い方をされている方もいらっしゃいます。
- 当サービスは、「一般災害」と「土砂災害」の避難情報を配信いたします。まずは、市ホームページの防災ページから「土砂災害警戒区域」に該当するかをご確認いただき、名前とメールアドレス等をご登録いただき、いざという時のために、確実に避難情報を入手できるよう、ご自身やご家族の登録を済ませますよう、ぜひお願いいたします。

3. 質疑要旨

(質問)

- ・ 新型コロナウイルスワクチンの接種について、65歳以上の方で、1回目の接種の予約が取れない方から市に連絡が来たと聞いておりましたが、どのような理由で1回目の予約が取れない状況になったのか教えてください。また、予約が取れない方は何人ぐらいいらっしゃったのか、観光国際交流センターで予約枠を増やしたことで、予約が取れない状況は改善されるのか教えてください。

(市長)

- ・ はじめは、市内のクリニックやかかりつけ医で接種を受けることが望ましいということが、大きな流れでありました。全国でもそのような形で取り組まれており、私どもも、それらの情報を発信してまいりました。その後、重症化をしっかりと防いでいくために、いち早く65歳以上の方々へのワクチン接種を進めていきたいと思いますということで、大規模集団接種等の体制をとってきたところです。そのような状況で、通常の診療を行っている病院でワクチン接種を受けていただくため、予約が順調に進むように65歳以上の高齢者を3つの年齢層に分け、それぞれのクリニックでも、当初より接種予定の人数を拡大していただきました。当然、通常の診療も行っておりますから接種可能人数に上限がある訳で、そのようなところが、ご高齢の方々からの予約で埋まっていく状況になったということです。これらの状況もあり、いち早くワクチン接種を受けられるよう、大規模集団接種の体制を整備したところでありますので、ぜひ、そちらに予約をシフトしていただきたいといったお話をさせていただいております。現在、予約率は、約81%です。おおよそ80%の予約率を想定し、準備を進めてきたのですが、さらに割合が高まってきているということで、現在、1日100名を増やす接種体制をとりながら対応しているところです。予約を受けられない方が何人であるかということは、希望する方々の見込みで計算をしているので、正確なものはありません。1日100名増の枠組みの状況を見ていながら、この中でしっかり対応できるよう進めていきたいと考えております。

(質問)

- ・ ワクチン接種予約の増加分として、7月5日～10日に、各日100人程度という人数を決めた根拠を教えてください。

(市長)

- ・ 大規模集団接種会場では、1日約1,000人規模の接種人数で計算しており、クリニックの予約状況やワクチンの供給量を踏まえていながら、これまで1日880人で接種を実施してきましたので、1日約1,000人の接種は可能な数字であるということです。最終的に慣れてくれば、もう少し接種人数を増やすことが可能であると思いますが、まずは、この増やした枠を活用していながら、早く接種を受けたい方がいらっしゃれば、7月10日までに1回目の接種を受けていただくことで、2回目の接種まで3週間の間隔となりますので、7月末までに高齢者の接種が終了いたします。7月5～10日の6日間で、600人分となるので、その枠を確保し、今、情報発信をしているところです。

(質問)

- ・ 高齢者の2回目のワクチン接種は、予定どおり終了する見込みということですが、今のところ、どのような形で進んでいる状況でしょうか。

(市長)

- ・ ワクチン接種を希望される高齢者の方々については、7月末までの接種に向けて取り組んでいるところであり、順調に進んでいるものと考えております。現在、予約が8割を超えている状況ですので、7月末までの完了は問題ないものと考えております。あわせまして、このたび、6日間の枠を増やしながらか対応をとっており、ワクチン接種を希望される方が受けられるように進めている最中です。

(質問)

- ・ 今後、64歳以下の方々への接種についてのスケジュールを教えてください。

(市長)

- ・ ワクチンの接種は、1回だけではなく2回接種することがセットとなっておりますので、ワクチン確保の目途がつかないままに考えております。私も接種を開始したのは、6月7日からでしたが、時間がかかっているのではないかとの声もありました。その際にも、ご説明させていただきましたが、6月6日までに接種を予定されている方々のワクチンが入ってくるということで、開始をしたということでもあります。例えば、接種対象者が10,000人のところ、5,000人分のワクチンしかない状況となると、早い者順ということで混乱が生じます。ワクチンの供給量がしっかりと確保され、全員予約ができる状況になれば、混乱は無くなるということで準備を進めてきたところでありました。その中で、64歳以下のワクチン接種の予約を開始することになりますと、どれだけのワクチン量が入ってくるのかが重要であると考えており、国の方に、供給量の見通しをしっかりと示していただきたい旨のお話を、全国各地や私ももさせていただいております。また、接種券の発送を行ったことにつきましては、職域接種の実施があるからで、阿寒湖畔では、昨日開始いたしました。他にも職域接種を計画されているところがあり、接種券がお手元にあることが望ましいということで、送付したところでもあります。しかし、今、職域接種の申し込み等が止まっているということですので、当初予定とは変わってきております。先々の見通しが、どのような形になるのか認識できる時には、色々な計画が作られると思っておりますが、見通しがつかない中で、計画を作っていくことにはならないと思っております。今後、国にはワクチンをしっかりと確保していただき、64歳以下の方々への接種をスムーズに進めていけるよう、我々も対応していきたいと考えております。

(質問)

- ・ 現在は、ワクチンの供給目途が立っていないことから、予約の受付開始ができないということでしょうか。

(市長)

- ・ 現段階で、ワクチンの供給が決まっているのは、次に届く7月10日分までという状況です。

(質問)

- ・ ワクチンが、全国の自治体で供給不足という話もあります。60～64歳の接種を7月に始める予定であったと思うのですが、対象が約11,000人で、2回接種するためには、22,000回分が必要だと思います。現時点では、ワクチン供給の目途が立っていないということなのではないでしょうか。

(市長)

- ・ はい、そうです。65歳以上の方々のワクチンについては確保しておりますので、しっかりと進めていきます。その後については、大規模集団接種会場で、実

際に、接種を行っていく中で、先生方やスタッフの皆さんに円滑に行っていただき、色々なノウハウが蓄積され、作業に慣れてきて、さらに接種人数を増やすことも可能という感触を持っておりました。まずは、7月10日までに、65歳以上のワクチン接種を希望される方が全員1回目の接種を終えて、11日以降から64歳以下の方々が、そのワクチン供給能力の中で接種を進めていけたらというイメージを持って考えていたのですが、8月のワクチン供給量と関係いたします。現段階では、8月のワクチン供給量がわからないので、64歳以下の接種をどのように開始できるか決められない状況です。

(質問)

- ・ 64歳以下の接種については、60～64歳といった年齢層ごとに、段階的に開始するイメージでしょうか。

(市長)

- ・ これは、接種予約と関係をしており、予約の対象人数を常に増やすと、インターネットや電話回線が混みあって大変になるかもしれません。そのような意味では、段階的にと考えております。

(質問)

- ・ 大規模集団接種会場は、7月末に高齢者向けの接種を終わらせるために設置し、会場の運営も7月末までであったと思いますが、64歳以下の方々への接種でも、このような大規模集団接種会場で実施するのでしょうか。

(市長)

- ・ これは、65歳以上の高齢者の重症化を防ぐための緊急的な措置と認識をしており、そこにあわせて対応をしたものであると考えております。現状では7月末で閉める予定です。

(質問)

- ・ 基本的に64歳以下の方々は、かかりつけ医等が無い方も多いのではないかと思います。クリニックや病院で接種をしていただく想定をしているのでしょうか。

(市長)

- ・ はい、そうです。あとは、今後の職域接種がどのようになっていくかです。様々なところが職域接種を検討されましたが、ワクチン供給量との関係で申込が停止しております。再開するとなると、地域における接種体制、並びに職域接種の体制が組み合わさり、早期にできる形になってくると思います。今月、色々な情報が出されると思っておりますので、注視していきたいと思っております。まずは、接種を希望される皆様に、安全に接種できるよう、しっかりと運営しながら進めていきたいと考えております。

(質問)

- ・ 奨学金返済支援制度について、令和4年度から実施ということですが、実際に利用したい若者は、何年卒の学生から使えるのでしょうか。

(産業振興部長)

- ・ 来年度から採用される方が対象となります。

(質問)

- ・ 令和3年度末まで就職活動をされている学生も入るということですね。

(産業振興部長)

- ・ そうです。

(質問)

- ・ 札幌市でも、同様の奨学金返済支援制度があるようですが、参考にされた自治体はありましたでしょうか。

(商業労政課課長補佐)

- ・ 企業とのタイアップによる制度を実施している札幌市と室蘭市を参考にしております。

(質問)

- ・ 登録企業の申請方法は、どのような手順で行えばいいのでしょうか。

(商業労政課課長補佐)

- ・ 市ホームページ上に掲載いたしますので、メールで申請をしていただく形となっております。

(質問)

- ・ 奨学金返済支援制度は、流出が多い若年層の確保が目的であると思うのですが、今後も継続させていく考えがあるのでしょうか。

(市長)

- ・ 数年は、継続していくことを考えております。現在、学生の方々は、昔と比べて奨学金を活用されている方が、かなり多い状況であると思います。あわせて、社会状況も厳しい環境である中で、このような仕組みを持つことによって、釧路で働く人たちが定住し、頑張らせていただく道筋をつけていくことができると思っております。

(質問)

- ・ 日本製紙釧路工場が、8月中旬に機械を止めて、生産を終えるということですが、改めて期日が決まったことを踏まえて、市長の今の受け止めと、跡地利用の話、会社とこれからも協議を続けていくと思うのですが、現状、市として想定しているものがあれば教えてください。

(市長)

- ・ 報道等で、8月中旬の生産停止のお話が出ておりましたが、市の方にはまだ連絡等は来ていない状況です。現在は、そのような方向で進んでいるということですので、来るべきところが迫って来たという思いです。3月1日に本社に伺い、跡地の利用ということで、そこが白紙の状況で物事が進んでいきますと、過去の様々な会社や工場の事例を見ても、長期にわたって利用されない状況になっていきますので、市街地の中心にあるエリアを未利用のまま置いておくこと自体が、街にとって大きなマイナスであることを社長にお話し、どのように進めていくのか、撤退するまでの間にも、早急に示していただきたいと要請しているところです。現在、日本製紙本社からも、どのような所を活用していくといったお話をいただきながら、あわせて、様々なところからいただいた情報や、市の方に来ている情報を日本製紙に繋げながら進めているところで、近々、そのようなことも踏まえながら、私も会社の方とまたお話をすることができればと考えております。事務的などところは継続して進めておりますが、私も市長という立場で、日本製紙の方々ともお話をしておきたいと思っております。雇用等の問題については、会社としてしっかり責任を果たすということでありました。また、釧路市や管内の町村、様々な個別の会社等も含め、色々な動きをさせていただいているところです。このような状況の中で、一つひとつ可能性があることを進めていくことが、重要なことであると承知をしております。将来のことを考え、工場跡地の問題に

ついて、何らかの計画を示していくことが重要なことであると思っておりますので、しっかりと取り組んでいきたいと考えております。